エコアクション21
マネジメントシステム

第16回環境経営レポート

（2023年10月1日～2024年9月30日）

認証番号　0005241

発行日(2024年11月25日)

株式会社　大日

〒770-0003
徳島県徳島市北田宮4丁目6-76

目　　次

・会社概要・・・

【会社概要】

1.　事業所名及び代表者名

事業所名　　株式会社　大　日
代表者名　　代表取締役　山口裕史

2.　所在地

〒７７０－０００３
徳島県徳島市北田宮４丁目６－７６
　ｔｅｌ　088-631-2485
　ｆａｘ　088-631-7218
*矢三倉庫
　徳島市北矢三町1丁目1-22
*不動機材ｾﾝﾀｰ
　徳島市不動西町1丁目385
*池田営業所
　徳島県三好市井川町西井川1251-9
*高知営業所
　高知県高知市大津甲650-1
*大阪営業所
　大阪府大阪市港区港晴5丁目2番57号
*岡山出張所
　岡山県浅口市鴨方町本庄638-1

３．環境保全活動の責任者及び担当者

環境管理責任者　　マネージャー
担当者　　サブリーダー
ＵＲＬ　http://www.dk2.co.jp
Ｍａｉｌ　dainichi@dk2.co.jp

４．事業内容

建設業(土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、しゅんせつ工事業、内装仕上工事業、造園工事業、
水道施設工事業、電気工事業、管工事業、塗装工事業、電気通信工事業、
消防設備工事業)、測量業、労働者派遣事業、無線認定点検事業

許可番号　国土交通大臣　許可(特-2)第13180号

５．事業規模

規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	万円	239,138	277,772	199,800	209,790
工事件数	件	1,283	1490	1240	1466
人員	人	98	99	102	104
重機類	台数	3	3	3	3
床面積	㎡	1,667	1,667	1,667	1,667
倉庫面積	㎡	3,451	3,451	3,451	3,451

【認証・登録の対象組織・活動】

全組織・全活動を対象とする。

環境経営方針

環境理念

株式会社大日は、当社の事業(土木・電気・電気通信工事及びそれに付帯するサービス)を通して、人と自然が共存する社会を創造するため、環境負荷を低減すること、地球環境・地域環境を保全することを第一と考えます。地域社会とのコミュニケーションを保ち、環境に関する法令、規制、その他要求事項を遵守することにより持続可能（サスティナブル）な社会の創造に貢献するとともに、環境マネージメントの有効性の継続的な改善を図ります。

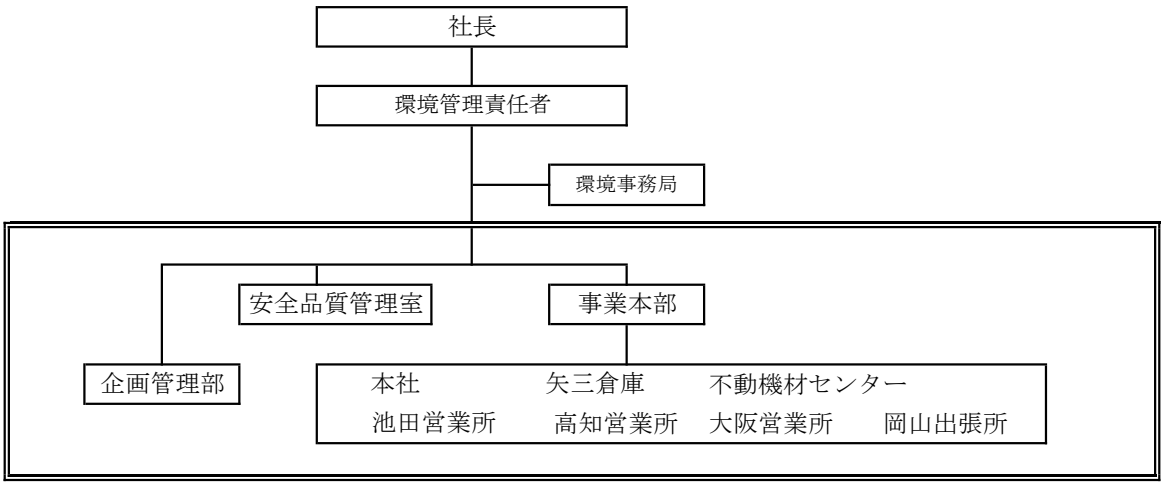
環境への取組みは、次の項目を積極的に推進します。

１．環境に関する法令、基準の遵守
２．二酸化炭素排出量の削減
３．廃棄物のリサイクル率向上と処分量の削減
４．水使用量の削減
５．グリーン調達の推進
６．化学物質使用量の削減
７．施工・サービスに関する環境配慮
８．６Rの推進
９．具体的な環境経営目標、環境経営計画に展開され、見直し及び評価できる基準となるものとする。
１０．環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画等を、当社の管理下で働くすべての人に周知します。
又、環境経営レポート等で公表し、閲覧できます。

制定日　2009年10月　1日
改定日　2020年11月 16日

株式会社　大日
代表取締役　山口　裕史

■実施体制図



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	環境経営システムの運用の為に必要となる経営資源(人、物、資金、情報) を用意する 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認　など 環境経営方針は、全従業員に周知する
環境管理 責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認　など
環境事務局	環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書を承認 環境経営の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門責任者	自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、ﾃｽﾄ、訓練を実施、記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
各部門担当者	各部門責任者の補助 自部門のEMS全般の活動を実施

■環境経営目標

当社における環境目標(3ヵ年)は次のとおりです。　　2024年11月25日

項　　目				2022年度 (10/1～9/30) 実績(基準値)	2023年度 目　標 基準値比△1%	2024年度 目　標 基準値比△2%	2025年度 目　標 基準値比△3%
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)			事務所	511,657	506,540	501,424	496,307
			現　場				
電力使用量 (kWh/年)			事務所	154,995	153,445	151,895	150,345
			現　場	0	0	0	0
自動車燃料使用量	(L/年)	ガソリン	現　場	71,941	71,222	70,502	69,783
		軽　油	現　場	103,366	102,332	101,299	100,265
廃棄物	%	ﾘｻｲｸﾙ率	全社	93.9%	94.8%	95.8%	96.7%
	(t/年)	一般廃棄物	事務所	2.6	2.6	2.5	2.5
		産業廃棄物	現　場	370.0	366.3	362.6	358.9
水使用量　(㎥/年)			事務所	1,668	1,651	1,635	1,618
グリーン購入　(品目/年)			事務所	142	143	145	146
施工時の環境配慮(防音対策済み機材の使用)			台数	15	15	15	15
化学物質使用量			kg	1,182	1,170	1,158.4	1,146.5
社会貢献活動（清掃活動）(回/年)			事務所	8	8	8	8

【備考】①会社の環境目標二酸化炭素排出係数：0.532（四国電力調整排出係数）

②リサイクル率の算出方法　$\text{ﾘｻｲｸﾙ率} = \dfrac{(\text{有価物})+(\text{ﾘｻｲｸﾙ})+(\text{減溶化物})}{\text{廃棄物(一般+産業)}}$

（全社　期間　2023年10月1日～2024年9月30日）　　**(目標/実績*100)**

項　　目				目　　標	実績	評価 (達成率　%)	
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)			全社	506,540	436,507	○	116.0%
電力使用量(kWh/年)			全社	153,445	158,180	×	97.0%
自動車燃料使用量	(L/年)	ガソリン	現　場	71,222	57,594	○	123.7%
		軽　油	現　場	102,332	86,447	○	118.4%
廃棄物	%	ﾘｻｲｸﾙ率	全社	94.8%	92.0%	×	97.0%
	(t/年)	一般廃棄物	事務所	2.6	2.7	×	95.3%
		産業廃棄物	現　場	366.3	284.8	○	128.6%
水使用量　(㎥/年)			事務所	1,651	1,634	○	101.1%
グリーン購入　(品目/年)			事務所	143	128	×	89.2%
施工時の環境配慮(防音対策済み機材の使用)			台数	15	14	×	92.4%
化学物質使用量			kg	1,170	792	○	147.8%
社会貢献活動（清掃活動）(回/年)			事務所	8	7	×	87.5%

＊ 参①　「主要な環境活動計画の内容 取組結果の評価と
次年度の取組内容」を参照

2022年度目標と実績は、二酸化炭素排出係数：0.532(四国電力排出係数)
：0.311(関西電力排出係数)大阪営業所
：0.540(中国電力排出係数)岡山営業所

評価基準　　100%以上は・・・・　100%未満は・・・×

未達成原因　人員増加によりｴｱｺﾝ稼働が増加した。
再資源化できない産業廃棄物が増加した
グリーン購入への変更ができない場合があった
環境に配慮した機材使用現場が少なかった
天候等の関係で、清掃活動が次年度に持ち越された

【主要な環境経営計画の内容　取組結果の評価と次年度の取組内容】

取組項目		評価と次年度の取組内容	責任者
二酸化炭素排出量の削減	**電力使用量(基準比1%削減)**	冷暖房の設定温度の巡回点検と指導	各部門長
	・エアコンの温度設定		
	冷房28℃　暖房18℃	次年度取組	
	・OA機器をｴﾈﾙｷﾞ効率の高い機器に移行	・今回の取組を継続実施していく	
	・こまめな消灯(巡回指導)	・各部署ごとの目標・実績の浸透を図る	
	燃料使用量(基準比1%削減)	県外工事が増大していますが、乗り合わせ等	各部門長
	・ECOドライブの励行	により消費量削減につながる	
	・適正な車両整備	次年度取組	
		・今回の取組を継続実施していく	
廃棄物排出量の削減(基準比1%削減)		工事内容にての排出量が増加する	各部門長
・混合産業廃棄物を有価物・ﾘｻｲｸﾙ・		回収物の分別により混合廃棄物の増加を	
焼却・最終処分に分別		抑えている。	
・最終処分でも破砕処理の可能品は		次年度取組	
別処理とし減量化を推進		・今回の取組を継続実施していく	
・回収廃棄物の再分割を完全実施			
水使用量の削減(基準比1%削減)		取組活動は計画通り実施できた。	各部門長
・日常的節水の励行		蛇口の閉栓確認と点検整備を実施	
		地下水にﾒｰﾀｰを取り付け使用量を把握	
		次年度取組	
		・今回の取組を継続実施していく	
グリーン購入(基準比1%増加)		取組活動は計画通り実施できた。	各部門長
・ｴｺﾏｰｸ商品を積極的に購入する			
・ﾘｻｲｸﾙ商品での修理を推進		次年度取組	
		・ﾘｻｲｸﾙ部品の使用を推し進める。	
化学物質使用量の削減		取組活動は計画通り実施できた。	各部門長
・塗料等に含まれる化学物質の含有量の調査			
・含有量の少ない材料を選定し変更			
		次年度取組	
		・含有量の少ない資材への変更を依頼	
施工時における環境配慮		最新機種に変更していく	各部門長
・環境に配慮した機材の使用推進		次年度取組	
		・今回の取組を継続実施していく	
社会貢献活動の推進		おおむね計画通り実施できた。	各部門長
・VIDA(ゴミ拾い)2回			
・ロードアドプト(ゴミ拾い)3回			
・吉野川土手(ゴミ拾い)2回			
・ゴミ0の日(春日公園)		次年度取組	
		・必ず実施する。	

環境経営計画及び実施状況　　（全社一括管理）

環境方針	2023年度取組手段	取組手段NO	取組手段の実施成果評価（○、△、×）															
			10月	11月	12月	評価	1月	2月	3月	評価	4月	5月	6月	評価	7月	8月	9月	評価
CO2排出量の削減	1．エアコン温度設定・夏場28℃	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	（室内温度）　　冬場18℃	2	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	
		3	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	
	2.OA機器をｴﾈﾙｷﾞ効率の高い機器																	
	に移行																	
	3.こまめな消灯(巡回指導)																	
	1．ECOドライブの励行	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2．適正な車両整備	2	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	
廃棄物排出量の削減	1．混合産業廃棄物を有価物・ﾘｻｲｸﾙ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	焼却・最終処分に分別	2	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	
	2．最終処分でも破砕処理の可能品は	3	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	
	別処理とし減量化を推進																	
	1．回収廃棄物の再分別を完全実施	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減	1．日常的節水の励行	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリーン購入の推進	1．エコマーク商品を積極的に購入する	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2．リサイクル部品での修理を推進	2	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	
化学物質の削減	1．塗料に含まれる化学物質の含有量	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	調査	2	○	○	○													
	2.含有量に少ない材料を選定し変更																	
環境配慮機材の推進	1．環境に配慮した機材の使用推進	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域貢献活動への参加	1．VIDA(ゴミ拾い)2回	1				○				○	○			×			○	○
	2．ロードアドプト(ゴミ拾い)3回	2	○						○									
	3．吉野川土手(ゴミ拾い)2回	3		○													○	
	4．ゴミ0の日(春日公園)	4													○			

1．目標値を3ヶ月未達成の場合を問題の究明、再発防止の是正処置を行う。
なお、項目中季節柄、設備上無関係なものは一（横バー）とする。また、自社にあった取組が有れば追加は可とする。
器具の取付け等達成できたものは年度が変わるまで継続する。
最後に各取組手段NOの中で最も悪い評価を採用し集計して全社分とする。

■環境関連法規・条例等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

最新版確認日：2024/10/1

遵守確認日：2024/10/1

1）環境関連法規その他規制事項の概要　　※この１年間該当しなかった場合は該当なしと記載

環境法規制等の名称	要求事項	遵守状況の確認	判定
廃棄物処理法	産廃収集・運搬業者及び産廃処理業者との契約 ﾏﾆﾌｪｽﾄの交付及び返送ﾏﾆﾌｪｽﾄの確認 産業廃棄物管理表交付等報告書の作成	書類の確認 問題なし	遵守
建設副産物適正処理推進要綱	「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録	書類の確認	遵守
オフロード法	排出ガス基準適合車のシール確認	シール確認	遵守
騒音規制法	特定建設作業の市町村へ事前確認・届出書	書類の確認	遵守
振動規制法	特定建設作業の市町村へ事前確認・届出書	書類の確認	遵守
消防法	所轄消防長又は消防署長に届け出、火気の使用に関する規制	問題なし	遵守
グリーン購入法	物品購入等に際し、できる限り、環境物品等を選択	順次購入	遵守
徳島県生活環境保全条例	みだりに、缶瓶ペットボトルその他の容器包装、たばこの吸い殻又は紙くず等を捨ててはならない	問題なし	遵守
浄化槽法	定期点検・清掃・水質に関する検査	書類の確認	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易点検・定期点検	問題なし	遵守
水質汚濁防止法	排水基準の遵守･届出、特定地下浸透水の禁止、生活排水対策の実施	問題なし	遵守
徳島県環境基本条例	基本理念にのっとり、その事業活動を行うに当たっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講ずる債務を有する。	問題なし	遵守
徳島市環境基本条例	基本理念にのっとり、その事業活動を行うに当たって、公害の防止、廃棄物の適正な処理、自然環境の保全その他環境の保全上の支障の防止のために必要な措置を講ずるとともに、資源の循環的な利用その他環境への負荷の低減に努めるものとする	問題なし	遵守
徳島市廃棄物の処理及び再利用に関する条例	事業者の責務・・・・廃棄物を適正に処理し、減量し、市の施策に協力する	書類の確認	遵守
徳島市ポイ捨て及び犬のふん害防止に関する条例	ポイ捨ての防止に関する施策に協力	問題なし	遵守
三好市まちづくり基本条例	地域社会の一員として社会的責任を認識、町づくりに寄与し主体的に自然環境の保全に努める。	問題なし	遵守
高知市歩きたばこ等の防止に関する条例	歩きたばこ防止に関する施策に協力しなければならない。	問題なし	遵守
高知市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任に置いて適正に処理しなければならない。又廃棄物の減量推進及び適正処理に関する市の施策に協力しなければならない。	問題なし	遵守
大阪市再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入等による低炭素社会構築に関する条例	低酸素社会の構築に向けて、再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入による温室効果ガスの排出の抑制等のために必要措置を自主的かつ積極的に講ずるよう努めなければならない。	問題なし	遵守

2）違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反は、ありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

近隣住民から特に指摘はなく、また、過去3年間、訴訟等も同様に１件もありませんでした。

様式:13-01

代表者による全体の評価と見直し・指示

■定期見直し(事業年度終了後)

(203年10月～2024年 9月)

実施日: 2024年11月22日　　代表取締役　山口　裕史

見直しに必要な情報

管理責任者の報告及び改善への提案

[取り組み状況の評価結果]

①環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による)
- ・2024年11月17日に評価を実施した結果順守されている。
  過去3年間にも違反はみられなかった。

②問題点の是正処置及び予防処置の状況
- ・今年度も、該当する問題点はなかった。

③前回までの代表者の指示事項への対応
- ・推進委員会を実施、浸透をはかった
- ・幹部会及び安全会議等で実績及び活動の現状を報告し、
  HPで情報の共有化を行った。

＜改善への提案＞
- ・推進委員会のさらなる活性化をおこない、情報の見える化を進めてゆく

[目標・環境経営計画の達成状況]　(詳細は環境経営計画書による)

目標項目	目標値達成状	活動計画	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
電力の削減	×	○	冷暖房の設定温度の巡回点検と指導をさらに強化する
ガソリン、軽油の削減	○	○	積載物の整理、不要工具は乗せない等の燃費向上継続指導を行う
ﾘｻｲｸﾙ率ｱｯﾌﾟ	×	○	有価物にならないか分別チェックの更なる指導を行う
一般廃棄物の削減	×	○	不燃物の分別を継続する
産業廃棄物の削減	○	○	有価物・混合物の更なる分別を行う
節水	○	○	蛇口の閉栓確認と点検整備を行うとともに日常的節水の励行の指導を行う
ｸﾞﾘｰﾝ購入	×	○	エコマーク商品及び再利用商品を購入を勧める
化学物質使用量の削減	○	○	取組活動は計画通り実施できた。
施工時における環境配慮	×	○	環境に配慮した機材の利用促進を行う
社会貢献活動	×	○	今後も活動を推し進めていく

＜改善への提案＞
- ・もっとHPを活用し、社員に情報の共有をしてゆく

[周囲の変化の状況]

①外部コミュニケーション
- ・コロナ規制緩和で協会・地域・町内等の各種イベント等が積極的に行われています

②環境関連法規制等の動向他
- ・法改正のつど幹部会で周知し社員へと展開している

＜改善への提案＞
- ・協会・地域・町内等の関係者とコミュニケーションを密に行う

代表者が自ら得た情報
- ・原油産油国の内政悪化及び外圧の増加に伴う原油高騰が継続する。

代表者による見直し　　変更の必要性の有無・指示事項

[環境経営方針]　変更の必要性:　□有　■無
- ・変更の必要性はなし　このまま推進していく。

[実施体制]　変更の必要性:　□有　■無
- ・目標・環境経営計画に変更はなく、そのままの体制で実施する。

[環境経営目標及び環境経営計画]　変更の必要性:　□有　■無
- ・環境活動推進に向けて、身近な実績レビューを再々行い、全社員に浸透を図る。

[総括]
- ・職場環境改善と環境推進の両立の為、機会有る事に情報の共有を図り、環境活動を更に活性化する。

評価基準　99%以上は・・・・○　99未満は・・・×

■当社の環境経営の紹介

①「関西エコｵﾌｨｽ宣言」に賛同し加入

②「徳島夏冬エコスタイル」に賛同し加入

活動内容
暖房18℃、冷房28℃
室内温度の確認と巡回指導
エコドライブ、アイドリングストップの実施

③地球環境への参加

吉野川アドプト及び近隣の清掃活動へ参加

実